

(様式3)

事業所名 グループホームのぞみ

作成日 平成 23 年 2 月 24 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	3月～4月の開催の為、委員が、参加できない時もある。	2月毎の開催をめざすとともに、活発な意見交換を図る機会づくりに励む。	職員会議で、話し合った結果、構成メンバーは、今のところ変更しないほうが良いのではとあがった。地域に根ざしたホームで、近隣住民の人間関係等もあり、後々不具合が生じるのではないかとこのことでここ1年間は見送りとする。運営推進会議は、今まで、支所でしたが、本所の役場に連絡をして参加していただくようにする。	12 ヶ月
2	6	家族の意見、運営推進会議での意見や、要望等の課題を運営に反映するよう工夫する。	管理者会議等で、意見や、要望等運営に反映できるよう、課題の取り上げ実践する。	外部評価家族アンケートの意見について、管理者会議で話し合い、改善するようにする。施設長が利用者との交流時間を増やすことした。	12 ヶ月
3	2	認知症について啓発活動や、地域への事業所機能の還元に向けて取り組む。	事業所に近隣住民との日頃の交流の中で、認知症についての理解していただけるようコミュニケーションを図る。	玄関に認知症に関するパンフレットを置く。普段の何気ないコミュニケーションの中に、認知症について少しでも理解していただけるような会話にする。相談に乗る。	1 ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。